

2013年2月1日  
在アンゴラ日本国大使館

## アンゴラ情勢報告（2013年1月）

### 【1月の政治動向】

#### <内政>

- ・ **鉱業分野**：地質鉱山省は、鉱業法に基づく鉱業関連企業の運営規則を公布。違法に活動する企業や活動権限のない企業を検挙する目的。
  
- ・ **文化**：文化副大臣は1月8日の文化の日に先だって行われたイベントに出席し、アンゴラ全土に現存する無形、有形文化財の認定を進める旨述べた。
  
- ・ **国家計画**：行政労働社会保障省は、人材育成に関する2013～2020年にかけての国家計画に関する基本方針を提出。同人材育成計画は、行政分野での専門家及び高等人材の育成を目指すものであり、アンゴラ2025と呼ばれる長期的開発戦略とリンクしたものとなっている。
  
- ・ **国家予算**：
  - 15日、2013年度予算が国会で承認された。
  - ロペス財務大臣は、2008～2011年に返済期限をむかえていた国の借金は、本年3月までに完済される見通しであるとした。
  
- ・ **環境分野**：環境省は1月よりルアンダにおいて「きれいな港湾オペレーション」と称されるキャンペーンを開始。これは、港に停泊する船舶検査を実施し、海上に投棄する廃棄物を積載した船舶を摘発するもの。
  
- ・ **民間投資**：
  - 11日、民間投資庁(ANIP)は、総額15億3600万クワンザ、8件の投資契約に署名。
  - アブランテス民間投資庁長官は、アンゴラには資源があり投資先として魅力的な国である、当国への投資としては1億クワンザ(約100万ドル)以上の投資が優遇される旨述べた。また、より多くの国内中小企業が建設分野に参加することが望まれるとした。
  
- ・ **商業許可証のオンライン化**：商務省は、商業許可証(Alvará Comercial)の発給をオンラインで行うシステム設立の準備を進めている旨発表。
  
- ・ **新通貨導入**：29日、中銀は新たなクワンザ貨幣と紙幣を発表。貨幣は2月18日より、紙幣は3月22日より流通が開始される予定。

- ・ **政府・公社人事**：
- ドス・サントス大統領は、大統領令を発出し、共和国評議会 (Conselho da República) の構成員を任命。ヴィセンテ副大統領、ディアス・ドス・サントス国会議長、憲法裁判所長、検事総長、各議席保有政党の党首等が名を連ねる。
- ドス・サントス大統領は、ANGOP 総裁に Daniel Miguel Jorge 氏を任命。

## <外交>

- ・ **アフリカ情勢**：
- 3日、中央アフリカ共和国外務大臣がドス・サントス大統領を表敬し、大統領書簡を手交。同会談のマージンにおいて、アウグスト外務副大臣は、中央アフリカ共和国へのアンゴラ軍派遣の可能性を否定。
- 11日、ジョナサン・ナイジェリア大統領特使がドス・サントス大統領を表敬訪問し、大統領親書を手交。二国間協力の他、ギニア・ビサウ情勢等多国間関係分野における両国の立場に関し意見交換が行われた。
- カビンダ州において、故モブト (Mobutu) ザイール (当時) 大統領の指揮下にいた軍人 9 人の身柄を拘束。コンゴ (民) の情勢不安定化を画策していたものと見られる。
- 14日、ドス・サントス大統領は、Bonifácio A U 総会議長と会談。マリ等における紛争問題に関し話し合った。
- 16日、南アのズマ大統領がアンゴラを訪問。最近のアフリカ情勢、とりわけ中央アフリカやマリにおける紛争に関し話し合われた。両大統領は、マリにおける紛争へのフランス軍介入は、良いタイミングであった旨同意。
- 18日、ドラミニ・ズマ A U 委員長はドス・サントス大統領と会談し、アフリカ諸国首脳は、アフリカの将来について慎重に考える必要がある旨述べた。
- シコティ外相は、アンゴラとしてマリ情勢への介入を支持し、経済または物資援助を行うことを検討している旨述べた。

- ・ **A U 総会・A U 閣僚執行理事会**：24～25日、A U 閣僚執行理事会がエチオピアにて開催され、アンゴラからシコティ外相が出席。また、27～28日、同地にて開催された第20回 A U 総会には、アンゴラよりヴィセンテ副大統領が出席。

- ・ **日・アンゴラ関係**：JICA 協力のもと、ウアンボ州、ビエ州で大規模米生産再活性化が開始。訪日研修を受けた 8 人のアンゴラ人農業専門家が指導者として活動。

- ・ **中国・アンゴラ関係**：
- 4日、中国において、中国・アンゴラ外交樹立 30 周年を記念する式典が開かれた。
- 中国においてルアンダ州政府職員 10 人に対し、都市計画に関する研修コースを実施。

- ・ **韓国・アンゴラ関係**：15日、韓国とアンゴラは 2 つ資金協力に関する E / N に署名。公共安全の近代化プロジェクト及び産業技術センター建設プロジェクトに対する資金供与が実施される。

- ・ **伊・アンゴラ関係**：21日、伊は David Bernardino 小児科医院に救急車を一台寄付した。
- ・ **国際機関**：30日、国連食糧農業機関（FAO）の事務局長がドス・サントス大統領を表敬訪問。大統領は、信託基金の創設を提案。
- ・ **偽装査証**：偽装査証にて違法に滞在していたベトナム人が逮捕された。

## 【基本事項】

### <一般情報>

- ・ 国名はンドンゴ王国の王号ンゴラに由来。人口1961万8432人<sup>1</sup>（2011年世銀推計）
- ・ 旧ポルトガル植民地であり、1975年に独立。独立後、1975年から2002年まで長年に亘る内戦を経験し、2002年に和平を達成。

### <政治体制・内政>

- ・ 大統領を元首とする共和制国家。
- ・ 2002年の内戦終結以降、民主化を進めており、国内政治的には非常に安定。
- ・ 2008年9月に内戦終了後、16年ぶり2度目の国会議員選挙が実施され、与党アンゴラ解放人民運動党（MPLA）が81.3%の得票で圧勝。
- ・ ジョゼ・エドゥアルド・ドス・サントス大統領は、初代大統領アゴスティーニョ・ネットの死去をうけ、1979年9月20日就任。
- ・ 2010年に新憲法が施行。首相職が廃止され、副大統領を設置。大統領と国会議員の選出を同一の選挙で実施する「議院大統領制」が採用された。大統領の任期は5年<sup>2</sup>、2期まで。議会は1院制（議席数220、任期5年）。
- ・ 2012年8月31日、新憲法の下で初、史上2度目の大統領選挙、史上3度目の国会議員選挙となる総選挙が実施され、ドス・サントス大統領が再任された。

（了）

---

<sup>1</sup> 2014年に国勢調査の実施を予定。